

稲敷市役所 庁舎建設のあゆみ



稲敷市

CITY OF INASHIKI

あいさつ

○市長あいさつ

稲敷市にとりまして、町村合併以降の最大の懸案事項でありました新庁舎が完成いたしました。これは、市議会の皆様や市民の皆様をはじめとする関係者各位の深いご理解とご協力、そして、工事に携わられた皆様のご努力の賜物であると心から感謝申し上げます。

新庁舎の大きな特徴としまして、東日本大震災の経験から、免震構造を採用するとともに非常用発電設備などを設置し、災害に強く、市民の皆様の安全と安心を守る拠点施設として機能するよう整備したことが挙げられます。

また、市民の皆様にとって親しみやすく、利用しやすい庁舎とするため、ユニバーサルデザインの採用や効率的な窓口の配置などを行ったほか、太陽光発電や雨水の利用なども取り入れ、環境にも配慮した施設となっております。

新庁舎建設に伴い、市民サービスのより一層の向上に努め、市民の期待に応えられるよう、職員一丸となって全力で取り組んでまいります。



稲敷市長 田口 久克

○議長あいさつ

懸案でありました、稲敷市役所新庁舎がここにめでたく落成いたしましたことに、市議会を代表し心よりお喜び申し上げます。

このたび完成しました新庁舎は、行政サービスの拠点として、またこれから想定される災害時の防災拠点として対応できる、まさに市のシンボルにふさわしい施設として完成をいたしました。

私ども市議会といたしましても、これを契機に市民の皆様により信頼される議会を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新庁舎建設に携わった関係各位の多大なるご苦勞に対し敬意を表し、心から感謝を申し上げまして、挨拶といたします。



稲敷市議会議長 浅野 信行

庁舎コンセプト

○庁舎の基本理念

稲敷市は田園風景や谷津地形、霞ヶ浦・利根川の水辺空間など、多様で豊かな自然環境に恵まれています。伝統的な産業を維持しながら、新たな企業誘致を推進しています。

このように多面的な表情を持つ稲敷市の特性を活かし、地域への愛着が醸成され、市民の「絆」を結ぶ統合庁舎づくりを行い、稲敷市の新たな行政の中心として、広域消防施設と連携し、市民の安心・安全を高めています。

計画テーマ

豊かな自然環境と調和し、市民に愛され、市民の「絆」を結ぶ先進庁舎

○計画コンセプト

① 安心・安全の防災庁舎

～災害時に市民生活を守る機動力・機能を備えた防災庁舎づくり～

② 地球・市民に優しい環境配慮型庁舎

～自然エネルギーを活かし、省エネルギーに配慮した自然体の庁舎～

③ 誰にもわかりやすく使いやすいバリアフリー庁舎

～高齢者や障害者 誰もが使いやすい市民に親しまれる庁舎～

○建物の特徴

安心・安全の基礎となる免震構造

積層ゴムやオイルダンパーといった免震装置を建物の下に設置し、建物と地面を絶縁することにより、地震による揺れを建物にゆるやかに伝える免震構造となっています。

便利でわかりやすい

市民サービス窓口を1～2階に集約配置し、階移動の少ない構成としています。また、市民ホワイエも自然光が入る明るい2層吹抜けの空間となり、開放性を高めています。

環境配慮型

最新の設備技術を取り入れながら、自然エネルギーを活用しています。

庁舎概要

○敷地概要

所在地：茨城県稲敷市犬塚 1570 番地 1

敷地面積：30,854.15㎡

用途地域：稲敷東部台都市計画区域 市街化調整区域（新庁舎周辺地区地区計画）

防火区域：なし

建ぺい率：60%

容積率：200%

前面道路：南側道路 12.0m

西側道路 6.5m（拡幅予定）

東側道路 10.0m

○周辺関連施設

周辺施設：敷地は稲敷市北西部、美浦村に隣接した旧茨城県立江戸崎西高等学校の跡地

周囲は畑を中心に民家、工場、雑木林が点在

隣地に稲敷広域消防施設（いなほ消防署）を設置

敷地環境：南北方向で3mの高低差

免震層はこの高低差を利用して施工



○建物概要

【庁舎棟】

規 模:地上5階(5階は機械室)
構 造:鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)
基礎免震構造
建築面積:2,529.85㎡
延床面積:9,241.50㎡
最高高さ:25.95m

【公用車車庫・防災倉庫棟】

規 模:地上1階
構 造:鉄骨造
建築面積:1,131.07㎡
延床面積:1,131.07㎡
最高高さ:5.15m

【外 構】

駐 車 場:南側 来庁舎駐車場157台、身障者用5台
北側 公用車・職員駐車場354台

屋外広場:平常時は広場として開放

非常時防災広場として活用、防災ベンチ2基設置(寄贈)

バ ス 停:来庁舎の移動手段の一つとして敷地内にバス停を設置、ベンチ2基設置(寄贈)

【施工者】

基本実施設計・監理:株式会社 安井建築設計事務所 東京事務所

建 設 工 事:五洋建設株式会社 茨城営業所

契 約 工 期:平成26年9月26日から平成28年3月11日まで

【建設事業費】

5,182,169,500円 (設 計・監 理 費: 223,781,500円)

(建設工事請負額:4,958,388,000円)

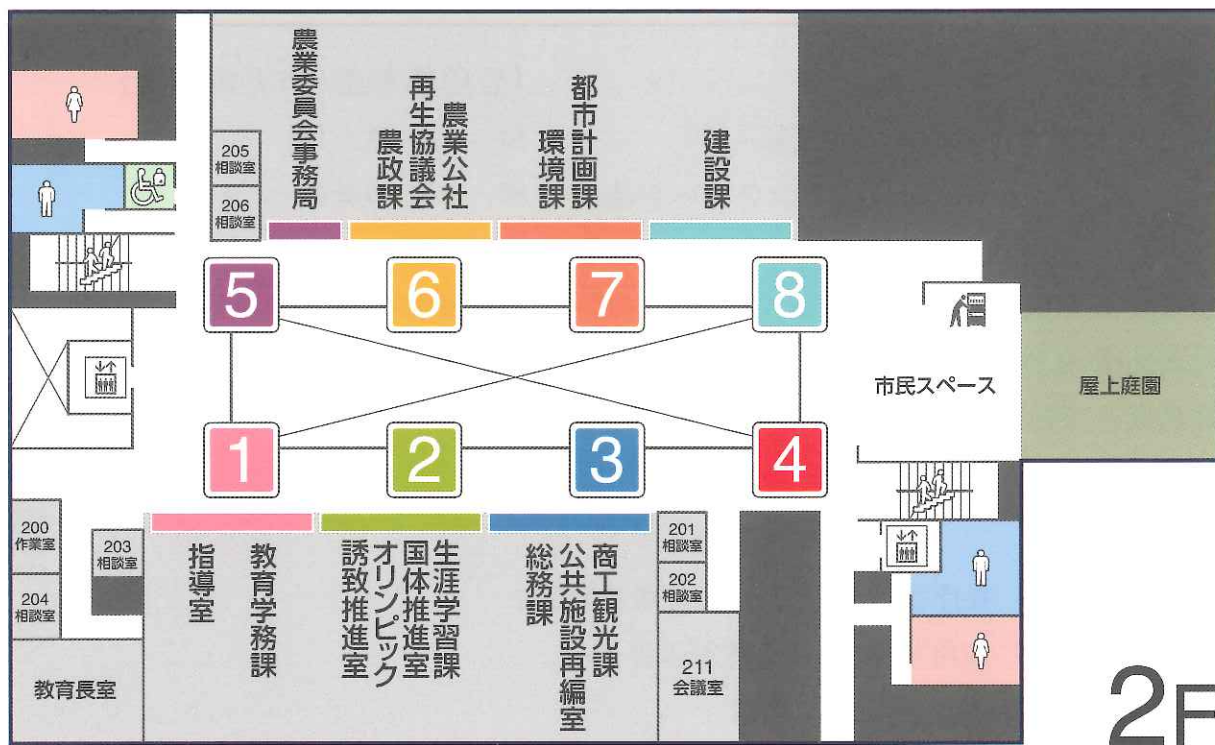
【別途関連工事等】

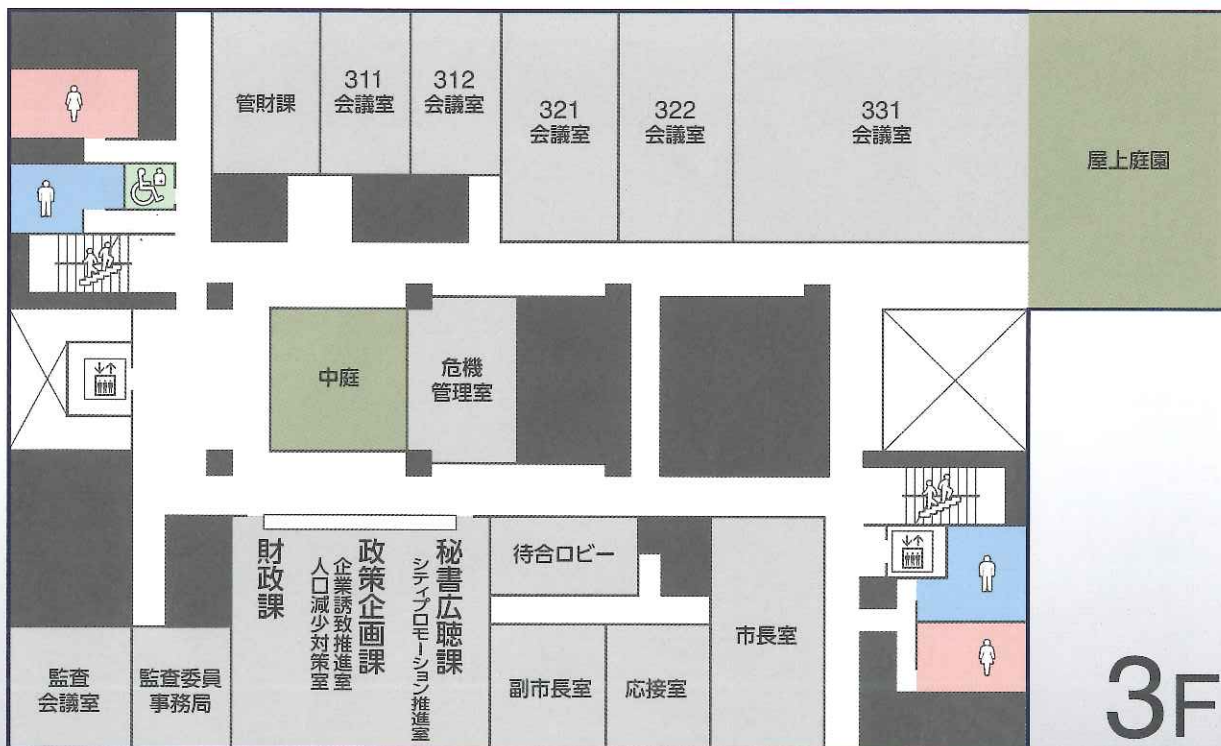
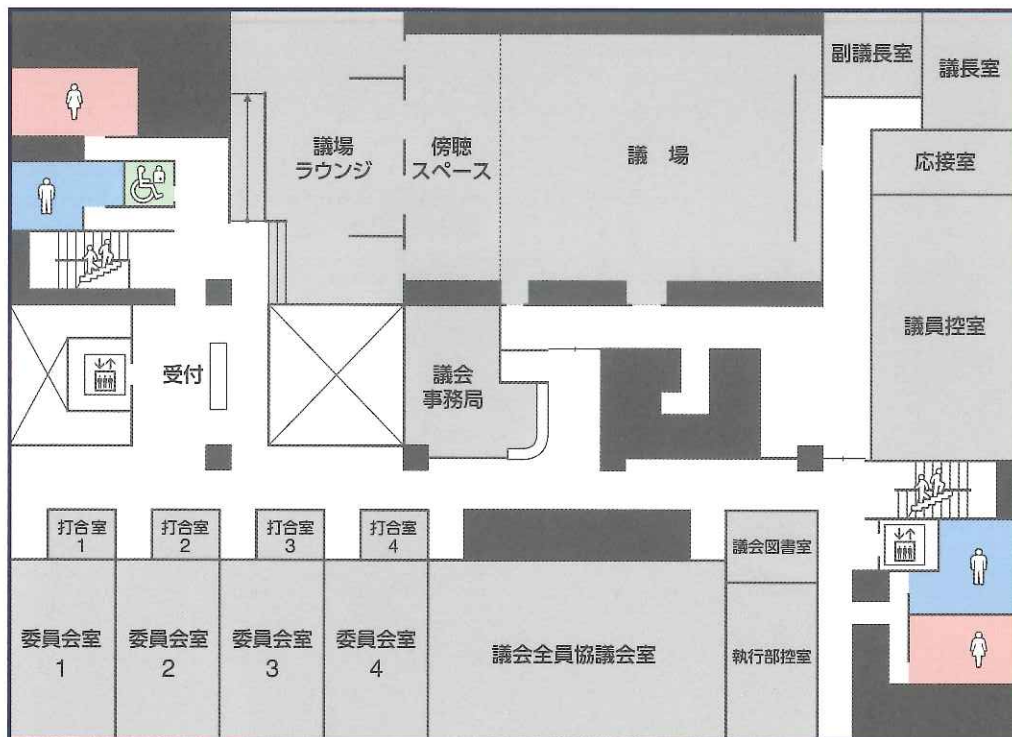
太陽光発電設備:太陽光パネル225W-64枚、蓄電池20Kw-1基、電気自動車用
急速充電機1基

新 庁 舎 備 品:移動書架、備品(机・椅子・什器・その他)

銀行ATM(屋外):常陽銀行、筑波銀行

フロアマップ





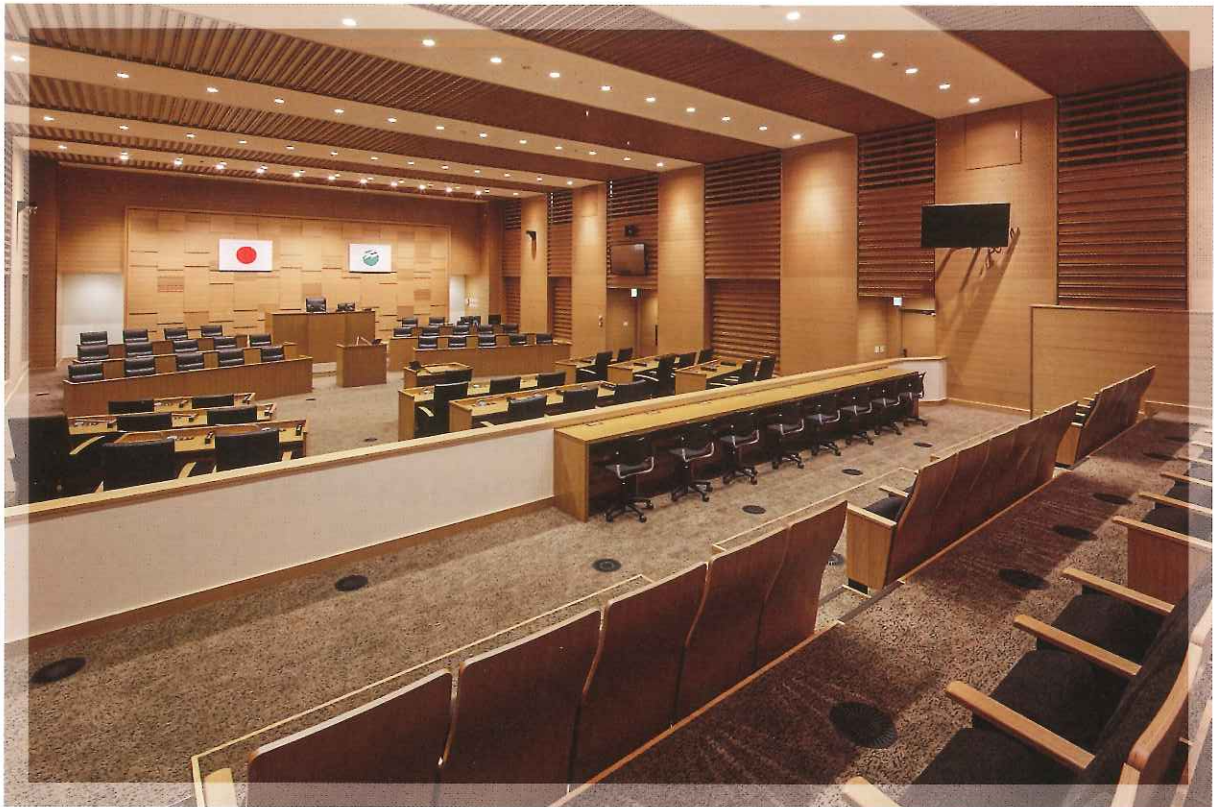
内部の様子



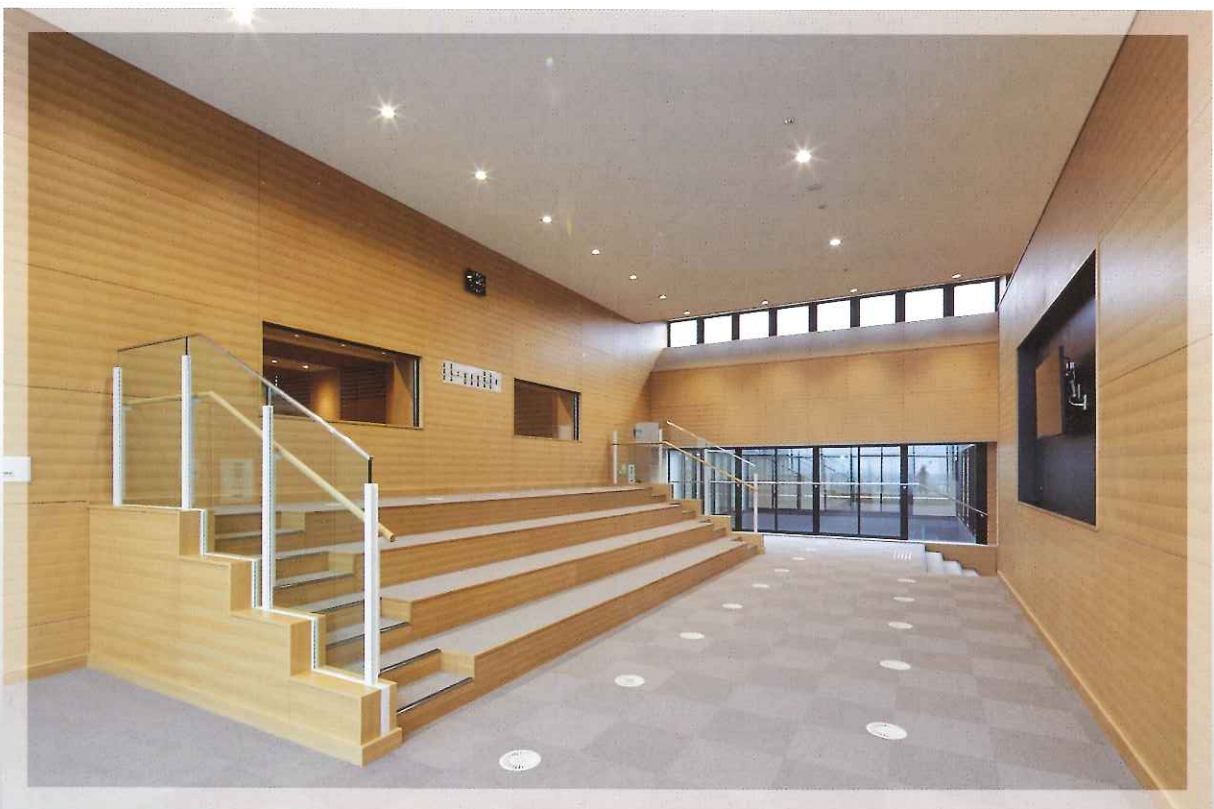
1F 総合案内



1F ホワイエ



4F 議場



4F 議場ラウンジ

庁舎完成まで

○建設経過年表

- ・平成19年 6月 新庁舎建設計画懇話会を設置（提言書策定）
- ・平成19年 10月 庁舎建設審議会を設置
- ・平成20年 3月 稲敷市庁舎建設基本構想策定
- ・平成20年 9月 稲敷市庁舎建設基本計画策定
- ・平成21年 3月 基本設計・実施設計業務開始（契約変更・覚書等により期間延長）
- ・平成21年 6月 新庁舎建設に係わる調査特別委員会を設置
- ・平成21年 7月 住民意向調査（アンケート調査実施）
- ・平成22年 1月 新庁舎用地購入（茨城県立江戸崎西高等学校跡地）
- ・平成22年 5月 庁舎建設100人会議を設置
- ・平成22年 7月 庁舎建設事業に関する提言
- ・平成23年 3月 東日本大震災の影響により事業を一時中断

- ・平成25年 7月 新庁舎建設工事基本・実施設計業務再開
庁舎建設推進会議を設置（H26.10月 先進庁舎視察）
- ・平成25年 9月 新庁舎用地内既存施設解体工事着手（～ H26.3.14）
同工事監理業務着手（～ H26.3.14）
- ・平成25年 11月 新庁舎基本設計完了
- ・平成26年 3月 新庁舎実施設計完了
- ・平成26年 9月 新庁舎建設工事着手（～ H28.3.11）
同工事監理業務着手（～ H28.3.25）
- ・平成27年 8月 新庁舎建設工事市民見学会実施
- ・平成28年 3月 新庁舎完成
- ・平成28年 4月 新庁舎竣工式典開催
- ・平成28年 5月 新庁舎開庁（業務開始）



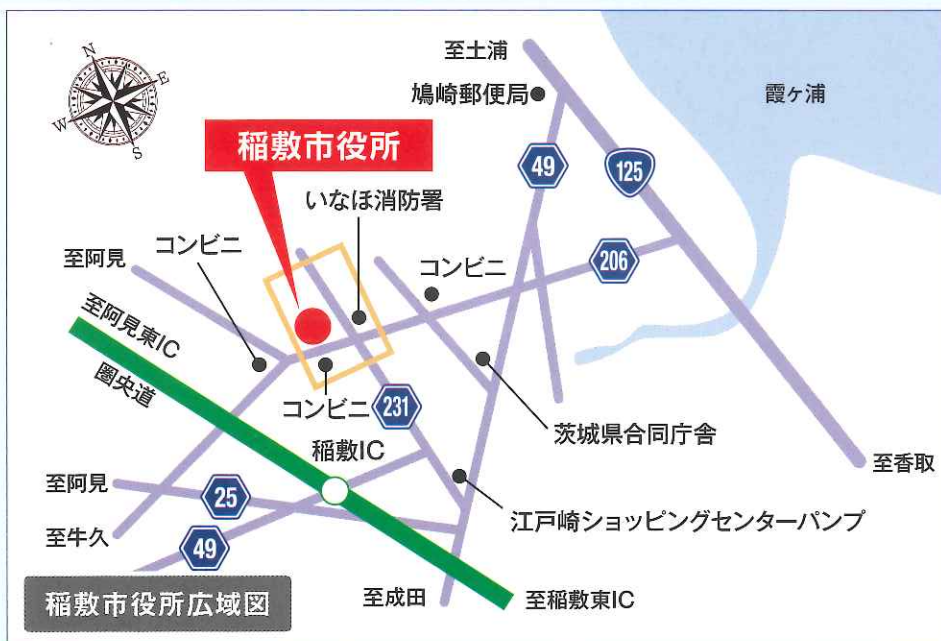


南面



北東面

アクセス



稲敷市役所

〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚1570番地1
 Tel.029-892-2000(代表)
<http://www.city.inashiki.lg.jp>

